

園芸科学科

商店街でプランター作り

飛騨高山高園芸科学科の生徒たち



地域住民と花を植える井下さん(左)＝高山市本町で

地域と交流 一緒に花苗植え

花を通じて地域住民とのつながりを深めようと、毎年実施。この日は2年の井下京香さん(16)が、「株同士の距離を均等に」などポイントを伝えながら苗の植え方を実演した。

商店街の店主らは、井下さんと話しながら苗を植えたり、後日植えるために苗を持ち帰ったりした。赤、白、ピンクの愛らしい花が、観光客も多く通る道を10月頃まで彩る。

25日には同学科の5人が、同市の高山短期大学付属幼稚園の年長児約50人に教えながら、花壇を作った。

井下さんは「地域の人と交流する機会はありませんので、一緒にできて楽しかった。通った人の目に花がパツと入って、きれいだな

育てたベゴニア 高山の商店街に

高山市の飛騨高山高校园芸科学科の生徒が26日、高山市の本町2丁目商店街で、店主らと鉢植え作業に

取り組んだ。生徒が育てたベゴニア350株を使い、各店舗の前に飾るプランターを作った。

と「思ってもらえたら」と話した。
(北川鈴乃)